

## イザベル・カンピオン指導の“音楽家の為の運動療法”

# 「管楽器奏者の為の“アトリエ”」

好評を博している「全ての演奏家の為の“アトリエ”」の管楽器特化バージョン

### “アトリエ”とは・・・

「楽器を演奏する時に、より良く身体を使えるようになるエクササイズを実践する講座」

### 講師のイザベル・カンピオンよりのメッセージ

「エクササイズの中で、肩甲骨や上肢帯をどう支え、どう働かせると良いかが感じられるようにお手伝いしていきます。呼吸のチェックも致します。こういったエクササイズはトラブルの予防手段にもなりますし、また、痛みや腱鞘炎の治療の1つの手段にもなります。」

日時：2018年10月5日（金）14:30～16:30

場所：スペースDo（管楽器専門店ダク地下）JR山手線新大久保駅下車徒歩3分

主な対象：フォーカル・ジストニアの方を含む管楽器奏者、管楽器指導者

定員：18名

受講料：5,000円 → 受講チケットはカンフェティより発売中

通訳：原田綾子（クラリネット奏者）

＜チケットご購入＞ カンフェティ チケットセンター（8月22日 販売開始）

（フリーダイヤル）0120-240-540（通話料無料・受付時間平日10:00～18:00）

【公演詳細ページURL】<https://www.confetti-web.com/detail.php?tid=48000&>

### 《服装・持ち物》

エクササイズをしますので、動きやすい服装（例えば、Tシャツ&パンツ）でご参加ください。床に寝た姿勢でのエクササイズもあります。各自、ヨガマット等の敷物をご用意ください。

### 《イザベル・カンピオン (Isabelle CAMPION) プロフィール》

運動療法士、アマチュアチェリスト。楽器演奏時に苦痛を伴う多くの演奏家の治療に当たっている。

2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学を専攻、また芸術医学のディプロムを取得。

2002年よりパリの「音楽家の為のクリニック “la Clinique du Musicien et de la Performance Musicale”」勤務。そこでフォーカル・ジストニアを含む演奏家の職業疾患とその予防、テクニックや音楽表現のための動作の最適化、そして“あがり”の克服の研究、指導をしている。2014年よりローザンヌ高等音楽院で教鞭を取る。

日本では、2009年よりコンセール・パリ・トーキョウ企画の講座で講師を務め、2010年からは毎年、東京藝術大学に於ける特別講座の講師を務めている。2019年に音楽之友社より「音楽家の為の運動療法」に関する本が刊行される予定。

### 《推薦文》

根本雄白 レ・ミュージシャン・デュ・ルーヴル首席ホルン奏者、ポルドー国立地方音楽院ホルン科教授（2018年9月就任）

フォーカル・ジストニアはその名前だけは日本の音楽家にも馴染みがあるものになりつつありますが、実際にその現状を把握し投薬に頼らない治療法の存在を知っている人はごくわずかです。またフォーカル・ジストニアになってしまった音楽家はその事を公にすることに消極的であるために、発症から治療のきっかけをつかめるようになるまでに概して長い時間がかかってしまうことが少なくありません。僕は数年前自分のコンセルヴァトワールのクラスの生徒が今考えるとフォーカル・ジストニアにかかっていたにもかかわらず、知識が全く無かったことからリハビリテーションに繋がっていくことができなかったという残念な経験から、イザベル・カンピオン女史のメソッドに興味を持ちました。幸い昨年の秋に僅かながら通訳をお手伝いさせていただききっかけを得て実際にワークショップやレッスンに触れたことにより、フォーカル・ジストニアにどうやって対処すべきか、という事は勿論、すべての演奏家にとって大事な『フォーカル・ジストニアにならないために日頃こういったエクササイズを行えばよいか』という初歩を学び早速教育者として授業に取り入れています。これから演奏家を目指す若い方たちは勿論、段々歳を重ねて基礎体力が落ちてきている中堅の演奏家にも是非カンピオン女史の講座を受けることをお勧めいたします。

主催：コンセール・パリ・トーキョウ <http://www.concert-paris-tokyo.com/>

協力：管楽器専門店ダク

【お問い合わせ】 コンセール・パリ・トーキョウ Tel&Fax.03-3487-7967  
管楽器専門店ダク 担当：山中 Tel.03-3361-2211

